

南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和7年11月
南那珂農林振興局
(南那珂農業改良普及センター)

I 管内農業・農村の主な動き

1 串間市SAP農園で園児達がパパイヤを収穫

20日に串間市のSAP農園でパパイヤの収穫祭が行われました。

当日は、串間市内の3つの認定こども園・保育園の園児達58人が参加し、初めて見るパパイヤに驚きながら顔の大きさ程に育った実を夢中になってぎ取りました。

SAP農園の収穫祭は、串間市SAP会議が子ども達に農業の楽しさを知ってもらうために実施しているもので、パパイヤでの収穫祭の実施は今年が初めての試みになります。



収穫方法を説明するSAP会員

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

総1 地域農業の担い手確保と技術・経営管理能力向上による 人材育成

1) みやざき就農応援相談会で就農相談

9日、宮崎市のJA・AZMホールで開催されたみやざき就農応援相談会に参加し、市やJAの担当者、農業委員会、農地利用最適化推進委員と一緒に、地域農業の概要や支援制度の説明、就農に向けた助言を行いました。

日南市、串間市のブースには、のべ6人の就農希望者が相談に訪れ、地域農業の魅力や支援策を紹介する良い機会となりました。

引き続き、関係機関と連携し、新規就農者の確保に向けた取組を進めていきます。



日南市ブースでの就農相談

2) 農業バイトアプリの情報提供を行っています

20日に行われたJAみやざきはまゆう地区本部きゅうり部会女性研修会において、労力確保手段の1つとして、農業バイトアプリ「daywork」の活用について情報提供を行いました。管内で活用に取り組んで3年目となり、突発的な労力確保には十分な効果があることが判っていますが、実際に急な場面から利用を始めるることは難しいですので、もしもの備えとしてあらかじめアプリのインストールや利用者登録しておくことを提案しています。



情報提供の様子

総2 南那珂地域における持続可能な水田農業の実現

1) カボチャの品種比較試験（収穫調査）

18日、日南市吉野方のフォアス（FOEA S）整備ほ場において、JA営農指導員、市、振興局とカボチャの品種比較試験ほ場の収穫調査を実施しました。慣行品種「栗将軍」に比べ、試験品種の「くりゆたかDX」及び「グラッセ」は、1個当たりの重量があり、形状が甲高であるなどの特徴がみられます。

今後、調査結果をとりまとめ、市場性の評価を確認した上で、地域との情報共有を行う予定です。



収穫作業の様子

2) 米粉PRイベントが開催

3日、「道の駅くしま」で開催された「串間市民秋まつり」において、米粉PRのため、市内の和菓子店が製造した米粉スイーツの試食・販売を支援しました。

併せて、米粉に関するアンケートも行い、消費者の生の声を聞くことができ、有意義なイベントとなりました。



イベントの様子

3) 南那珂地域水田経営体ネットワーク会会合が開催

21日、日南総合庁舎において、南那珂地域水田経営体ネットワーク会が開催されました。会では、これまでの活動実績並びに活動計画の報告の他、「農地集積・集約化の必要性」や「簡易基盤整備」について振興局より説明がありました。普及センターからは「スマート農業」について説明を行いました。

その後、普及センターがコーディネーターとなり、ネットワーク会員と関係機関とで、農地集積等を中心に意見交換を行いました。

今後は、他地域との意見交換会や簡易基盤整備の現地検討会を予定しており、会員の相互交流と連携を図っていくこととしています。



意見交換の様子

4) (農) みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催

11日、(農) みのさきファーム事務所において、(農) みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催されました。会では、鳥獣被害防止総合対策整備事業の今後の取り組みについて協議され、1月中旬以降に電気柵を設置することが決まりました。

引き続き、関係機関と連携した支援を行います。

専1 産地ビジョンに基づいた食用かんしょ産地の維持

1) JAみやざきはまゆう地区本部かんしょ全体研修会が開催

19日、JAみやざきはまゆう地区本部と連携し、管内生産者を対象に全体研修会を開催しました。

生産者13名の参加があり、普及センターからは、管内で生産の多い宮崎紅の新系統の選抜等7年産に実施した栽培試験の結果や、管内の基腐病の発生状況、次作に向けた対策などについて説明しました。宮崎紅の系統選抜や抵抗性品種比較試験については、来年も引き続き実施していく予定です。

7年産の基腐病の発生については、抵抗性品種の導入や総合的な防除対策の徹底により6年産よりも減少しました。

今後は8年産に向けて、苗床巡回を実施するなど、引き続き被害低減に向けた支援をしてまいります。

2) JAみやざき野菜活性化協議会かんしょ部会3地区合同研修会が開催

27日、県、市町村、JAなどの関係機関参集のもと、JAみやざきが主催の3地区合同研修会が実施されました。

研修会では、専門技術センターより栽培管理や病害についての研修がありました。生産者からは多くの質問があり、活発な質疑応答が行われました。

次作に向け、改めて栽培等について学ぶ機会となりました。



研修会の様子

専3 10年後の産地を担う畜産経営体の育成

1) 重点対象農家の巡回を実施

13日と20日に、串間市の重点対象農家（肉用牛繁殖農家）2名の巡回を行い、自給飼料生産ほ場の雑草対策支援や、来年度の作付けに関する検討を行いました。

今後も引き続き、定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

2) いもち病抵抗性イタリアンライグラス展示ほの生育確認を実施

5日、串間市で、いもち病抵抗性極早生イタリアンライグラス「フュワセ」、及びいもち病抵抗性早生イタリアンライグラス「九州5号」（極早生エンバクとの混播）の展示ほの生育確認を実施しました。

いずれのほ場も生育は良好で、「九州5号」は12月、「フュワセ」は1月に収量調査を予定しています。

引き続き、地域に適した栽培方法について調査を行うなど飼料作物の安定生産を支援します。



展示ほの様子

3) 飼料作物部会の現地研修会が開催

28日、串間市畜産技術員会と合同で、令和6年に実施したWCS梱包試験で調製したロールの開封調査を行いました。

本試験は、ラップフィルムの種類や巻き数の違いが、発酵品質やその後の保存状態に及ぼす影響を検討するもので、開封後の臭いやカビの有無等を確認しました。

今後も、会員の資質向上及び飼料作物の安定生産に向け、現場の課題に応じた研修会を実施します。

専4 産地ビジョンに基づいた果菜類(きゅうり・ピーマン)の生産性向上

1) 夏秋ピーマンの栽培講習会を実施

6日に夏秋ピーマン生産者を集めた栽培講習会が開催されました。

普及センター担当から、今年実施した生分解性ポット(ひなたエアポット)導入効果の検証(スイートピーとの短期作型の組合せにおける収益性等)の結果を報告しました。

次回の生産安定のため、今後も課題解決に向け支援していきます。



栽培講習会の様子

2) 日南ピーマン部会第1回定例会の開催

12日、13日、14日、18日に日南支部の第1回定例会が各地区で開催されました。会場の現地視察ではJA指導員を中心に、生産者同士でも活発な意見交換が行われました。

普及センターからは気象情報を共有し、寒波への注意喚起を行いました。

今後も定例会への参加および巡回支援を行っていきます。



定例会の様子

専5 環境制御によるマンゴーの品質向上と露地かんきつの経営安定

1) JAみやざきはまゆう地区本部マンゴー出荷反省会が開催

28日、はまゆう地区本部管内において、マンゴー生産者約30名の参加のもと標記反省会が開催されました。

J Aから令和7年産の生産・販売状況、各市場から市場情勢について報告がありました。また、普及センターからは個人毎の販売実績を見える化したシートを配布し、現状や課題を把握し、次年度の栽培の改善に繋げることを促しました。

今年産は気象の影響により例年より1ヶ月遅れの出荷となり、出荷期間の前半は高値で推移したものの、後半は高温による生理障害や病害が多く見受けられました。

専6 南那珂花き産地戦略に基づいた産地育成

1) 南那珂地区花き振興会現地研修会が開催

27日、南那珂地区花き振興会主催の現地研修会が開催されました。

まず、宮崎県総合農業試験場花き部の中村部長から「バイオスティミュラントの基礎知識と活用法について」の題目で室内研修が行われました。

その後、現地研修会として3戸の会員ハウスを巡回しました。参加者からは活発な質問があり、有意義な研修会となりました。



現地研修会の様子

2 プロジェクト（基本、専門、重点）以外の普及活動

1) 宮崎県農業経営指導士3支部合同研修会が開催

28日、県農業経営指導士会の中部支部、児湯支部、南那珂支部の3支部合同の研修会を開催しました。この研修会は、3支部の農業経営指導士が産地における取組事例等の調査並びに意見交換を通じて、新たな知見の習得や情報の入手につなげることで、農業経営指導士のさらなる資質向上を図るために実施しているもので、平成30年以来の南那珂地区での開催となりました。

日南市の農業経営指導士2名（花き、露地カンキツ）のほ場を視察し、労働力確保にかかる取り組みについて意見交換を実施しました。

支部の枠を超えたネットワークづくりが進み、より深い交流ができた会となりました。



意見交換の様子

2) JAみやざきはまゆう地区本部稻作部会あきたこまち・つや姫検討会が開催

18日に、JAみやざきはまゆう地区本部串間支店において、あきたこまち・つや姫検討会が開催されました。本年度の実績検討の他、次年度の作付計画について検討しました。作付をやめる生産者の面積をカバーすることで、全体の作付面積は維持していくことを申し合わせました。普及センターからは、本年度の生育状況等や収量調査結果及び各種肥料試験についての実績について説明しました。

次年度にむけ、土づくり資材の投入や水管理、さらには肥培管理の徹底を行うこととしています。

3) 南那珂地区女性農業者サポート協議会先進地事例調査の実施

25日、協議会会員15名で、美郷町の農家レストラン「味さと」と、美郷町北郷女性林研グループの先進地事例調査を行いました。

「味さと」では、コロナ禍での売上減少を乗り越え、弁当宅配などの事業継続への取り組みの話を伺いました。女性林研グループでは、林業経営者である小田氏から、病気の宣告を機に自身の生き方を見つめ直し、林業経営、女性林業研究グループ、NPO活動、女性林業者の会立ち上げなど、地域産業振興と女性の活躍を推進する活動を展開している話を伺いました。参加者は両名の力強い活動に感銘を受けました。

協議会では、1月にも研修会を計画しています。

今後も、会員の資質向上等支援に取り組んでいきます。



先進地事例調査の様子

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！

ひなたMAFiN Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

宮崎県農業・水産業ナビ

農業・水産業に関する
多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN 検索

QRコード

メルマガ登録はこちら